

マンション 災害に備えてますか



希薄な「ご近所」付き合い 気楽な反面リスクも

豪雨や地震などの災害が各地で相次いでいます。被災時には近所同士の助け合いも大切ですが、文字どおり「一つ屋根の下」に暮らすのがマンション。どんな特徴やリスクがあり、どんな備えが必要なのでしょう。住人同士のつながりを強める取り組みも広がっています。

管理会社も被災 助け合い誰と

「うちのマンションは、災害への備えが十分ではなかつた。北海道内の380超のマンション管理組合が加入する、北海道マンション管理組合連合会副会長の水島能裕さんは、「振り返る」。

北海道胆振地方で9月6日未明に発生した、最大震度7の地震では、道内のほぼ全域が停電した。水島さんが暮らす旭川市内の4階建てマンション(32戸)では、停電に伴い断水が発生。

水を各戸まで送る電動ポンプが動かなくなつたからだ。

管理組合は簡易トイレなどを備えておらず、トイレを使いたい人は5時ほど離れた施設

まで行く必要があった。

幸い、水島さんのマンションは半日後には復旧したものの、同連合会には停電が丸2

日続いたといつ報告もあった。日続いたといつ報告もあつたといつ報告もあつた。日続いたといつ報告もあつたといつ報告もあつた。

「管理組合に備えがないのに、自宅内の備えも不十分で、水やカセットコンロなどを貰うためにホームセンターを走り回りました」

マンションは鉄筋・鉄骨造りで頑丈なのが多く、一般的に木造の一戸建てなどに比べて被害が小さいとされる。

また近隣同士の人間関係が薄

い可能性がある」。

2016年の熊本地震の際は、同社が担当するマンションにスタッフが駆けつけるだけで数日か

かたった例もあった。「発生直後は、マンション内の助け合いが重要です」と話す。

札幌市内にある、500世帯余りが住む大規模マンション(14階建て・全5棟)では、日曜の備えが生きた。地震直後から停電し、インボリタンクなどにくみ出してリヤカーに乗せて各棟に運び、健脚を生かして階段で要支援者の住戸まで配つて歩いたという。

要支援者いる住戸 事前に把握 防災訓練 知り合い増やす場に

「いざという時に備えて、防災訓練で工夫しないといけない」。上層階の人ほど身動きがとらしくなるのは好む人もいる。一方、災害時に梯子などでエレベーターが動かなくなると、上層階の人ほど身動きがとらしくなるのは好む人もいる。一方、災害時に梯子などでエレベーターが動かない足かせになりかねない。

日常的な公用部分の管理や事務は、管理会社に任せっきりにしている管理組合も多い。そのため、災害時も何とかしてくれるだらうと思いつが、大手「太京アステージ」の担当者は「災害直後は管理会社も被災し、すぐに動けない程度」。

埼玉県久喜市の「ライオンスクガーデン久喜」(約500戸)は、東日本大震災の際に困った経験をきっかけに、備蓄品や要支援者リストづくりなど防災体制を整えた。以前は年1回、防災訓練を行つたが、大手「太京アステージ」は、年1回、防災訓練を行う程度。

「管理組合は世帯主は88)は話す。各戸に要支援者リストの提出を要請した結果、約60人が登録。安否を知らせるマグネットを玄関ドアに貼つて、災害時は玄関ドアに貼つてもう一度確認しやすくなる」ことでの確認をやすくした。また、せっかく水や食料、救急用品などを備えていても、保管場所を知る住民が以前はほとんどなかったという。そこで、保管場所も記した防災マニュアルを新たに作つて全戸配布し、管理人かいないと参加してもらえるよう、カレーの炊き出しを実施。今

は分からぬ関係が集めておれば、いざという時に互いに声をかけられるようになる」と期待する。

災害時に備えてマンションで開かれた住民向け講習会。被災時のストレスを和らげるマッサージも学んだ。(9月、横浜市)

年8月は日本赤十字社の担当者を招いて、冬場の停電時に寒さから身を守るために毛布ガウンの作り方やストレッチ、被災生活のストレスを和らげるための手遊びなどの理事長の伊東さんは、「マジックリエーション」を学ぶ講習会を開催。約60人が参加した。

マンションに必要な災害への備えは?

川上さんへの取材など
から作成

- 各戸で備えておくべき主なもの(最低3日分を用意)
 - 飲料水(一人1日3㍑)
 - 食料
 - 簡易トイレ
 - 常用薬
 - 軍手
 - 帳中電灯
 - カセットコンロ
 - ラジオ
 - 使い捨てカイロ

管理組合で備えておくべきこと

- *マンホール設置型など仮設トイレ・簡易トイレの準備
- *リヤカー、ジャッキ、担架などを各戸では準備できないものを見意
- *高齢者や障害のある人などを特に助けが必要な人の名簿を事前に用意
- *高階層は移動や物資の運搬が困難に。可能なら一定階ごとに避難場所を確保
- *災害時に活動する防災組織の設置
- *年に数回は防災訓練を実施

の見える関係」を楽くための取り組みた。防災訓練は、少しでも多くの人に関心をもつて参加してもらえるよう、書きを使って人気メニューのカレーの炊き出しを実施。今

全国マンション管理組合連合会の川上満水会長は、「その気になれば大勢の力を合わせられるのがマンション。日々が「コミュニティ」を持つておく必要がある」と話している。(有近藤史)